

# No97 宝石サンゴ 人工増殖に つながる成果 高知



[2016年11月02日 NEWS WEBより]

<http://www.asiaq.net>

---

レッスンの前に、必ずニュースを聞いてください。

上級者向け・・・リンクが削除されている場合は、2ページ目を参照ください。

[http://www3.nhk.or.jp/news/html/20161102/k10010753041000.html?utm\\_int=nsearch\\_contents\\_s](http://www3.nhk.or.jp/news/html/20161102/k10010753041000.html?utm_int=nsearch_contents_s)

---

## レッスンを始める前に

- ・ニュースを聞き、内容をしっかりと読んでください。
- ・分からない単語は、辞書で調べてください。
- ・一人で音読できるように、練習をしてください。
- ・ニュースの感想を考えてください。

---

## レッスンの進め方

1. 先に講師が読みますので、後に続いて読んでください。
2. 分からないところを質問してください。
3. 内容に対し講師が質問をしますので、答えてください。
4. このニュースが伝えたいことは何か、簡単に説明してください。
5. ニュースを見て思ったこと、感じたことを話しあいましょう。

---

## レッスンの注意点

いっぱい話しましょう。間違えても構いません。

わからないところ、疑問におもったところはどんどん質問しましょう。

間違えたところはメモを取り、レッスンの後に復習をしましょう。

# No97 宝石サンゴ 人工増殖に つながる成果 高知



[2016年11月02日 NEWS WEBより]

<http://www.asiaq.net>

～上級者向け ニュース記事全文 ～

## 宝石サンゴ 人工増殖につながる成果 高知

乱獲や密漁で資源量の減少が懸念されている、高級な宝飾品に使われる「宝石サンゴ」を人工的に増やそうと、高知県の研究所がサンゴを切断したうえで海に沈める実験をしたところ、半年後に組織の数などが増えているのが確認されました。研究所は「資源保護につながる技術だ」として期待を寄せています。

「宝石サンゴ」は高級宝飾品の材料として人気が高まっていますが、最近では小笠原諸島の周辺で中国漁船による密漁と見られる行為が相次ぐなどして資源量の減少が懸念されています。

これを受けて、全国有数の産地、高知県にある「黒潮生物研究所」が人工的に増やす方法を開発しようと、地元の漁業者から提供を受けた宝石サンゴの1種「アカサンゴ」を使い、枝のようになっている部分を複数に切断したうえでコンクリート製の魚礁に移植し、深さおよそ100メートルの海底に沈める実験を行いました。その結果、およそ半年後には移植したそれぞれの部分で、栄養分をとる「ポリプ」と呼ばれる組織の数や、骨格を覆う「肉」の表面積が増えているのが確認されたということです。

宝石サンゴをめぐるのは、絶滅のおそれがある野生生物の国際取り引きを規制するワシントン条約の締約国会議で、先月、生息状況や取り引きの実態調査を求める提案が採択されています。

黒潮生物研究所の中地シュウ所長は「資源保護と持続的な利用の両立につながる技術と考えられる。人工増殖の方法を確立できるよう研究を続けたい」と話しています。